

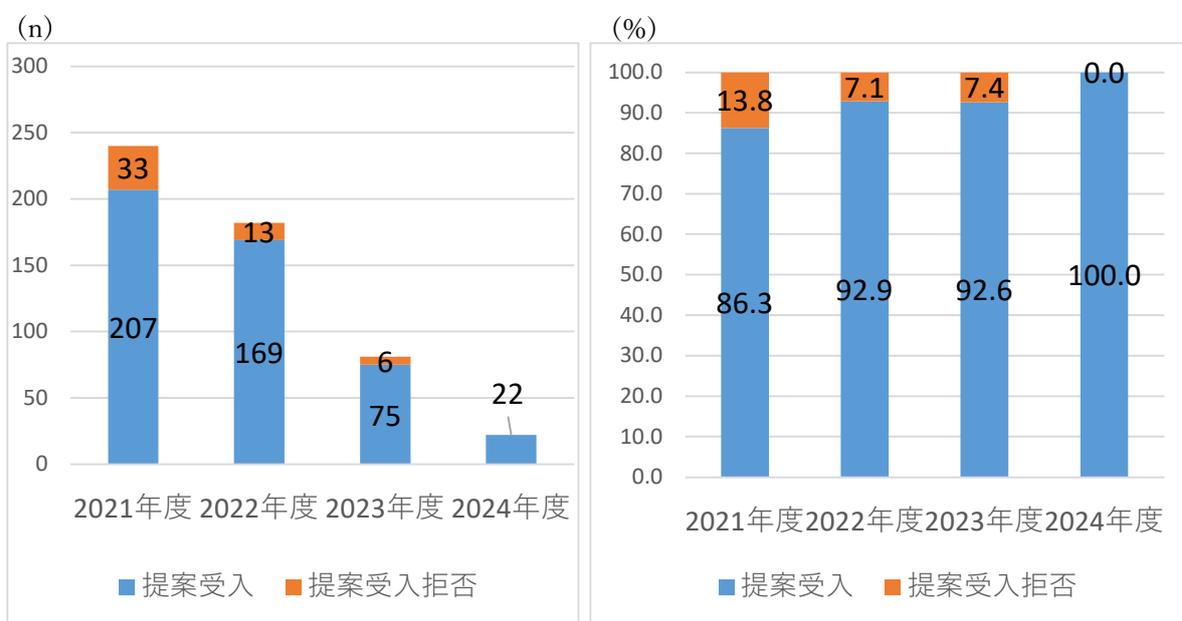
30.広域スペクトラム抗菌薬不適正使用例における AST からの改善提案に対する受入率

【指標の意義・定義】

意義：患者の予後を改善するためには、最も効果的な抗菌薬を適切に選択・投与することが重要です。特に、広域スペクトラム抗菌薬を適正に使用することにより、薬剤耐性菌の発生や抗菌薬による副作用のリスクを低減することが可能となります。

定義：広域スペクトラム抗菌薬（カルバペネム・ニューキノロン・抗 MRSA 薬等）が不適切に使用された症例のうち、AST による改善提案が受け入れられた症例の割合。

【当院の実績】



【指標の説明】

広域スペクトラム抗菌薬が不適切に使用されている症例に対して、AST が改善提案を行っています。近年では、その提案の受け入れ率は上昇傾向にあり、抗菌薬適正使用の推進に寄与しています。